

科目名	理学療法技術論Ⅰ（整形外科疾患）			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	30回	時間数	60時間（2単位）	配当学年・時期	理学療法士科3年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕							
整形外科疾患に対する理学療法の評価および治療プログラム作製を習得する。							
〔授業全体の内容の概要〕							
具体的な症例を提示し実技を中心に、評価及び治療技術の習得を行います。実技を行える服装を用意してください。							
〔講師の実務経験〕							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕							
代表的な整形外科疾患の概要及びそれに対する理学療法の関わり方を理解する。各疾患に必要な評価及び治療プログラムが考察できる。							
回数	講義内容						
1	上腕骨近位端骨折の病態 手術 検査測定 治療プログラム						
2	胸郭出口症候群、検査 評価 治療について						
3	腱板損傷 検査 手術方法 評価治療について						
4	肩関節不安定症 術後リハビリテーション						
5	上腕骨外側顆骨折について病態 検査治療 外側上顆炎の病態と治療 運動療法						
6	肩関節周囲炎の評価と治療方法						
7	橈骨遠位端骨折の病態 手術 理学療法						
8	野球肘の症状 評価 運動療法						
9	肩関節疾患の理学療法 機能解剖 評価						
10	肩関節疾患の理学療法 理学療法						
11	腰痛の概論 機能解剖 バイオメカニクス						
12	腰痛の評価						
13	腰痛の治療 日常生活上の注意点						
14	屈曲型腰痛、伸展型腰痛の評価 仮説検証						
15	変形性膝関節症について 概論 機能解剖 バイオメカニクス						
16	変形性膝関節症の評価と治療						
17	変形性膝関節症について 評価治療実技						
18	変形性膝関節症について 評価治療実技						
19	痛みの生理学						
20	痛みの生理学						
21	大腿骨頸部骨折について						
22	大腿骨頸部骨折について						
23	大腿骨頸部骨折について 評価治療実技						
24	大腿骨頸部骨折について 評価治療実技						
25	変形性股関節症について						
26	変形性股関節症について 評価治療について						
27	腰椎圧迫骨折について						
28	腰椎圧迫骨折について						
29	膝関節障害について						
30	膝関節障害について						
	定期筆記試験						
【 準備学習・時間外学習 】							
【 使用テキスト 】							
書籍名		著者名		出版社			
運動器疾患のなぜがわかる臨床解剖学		工藤慎太郎		医学書院			
参考書籍名							
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】							
筆記試験を基本に単位認定をおこないますが、実技および口答試験も検討します。							